

コスモステーションの ご紹介



東関東カンパニー

S&CCS 流山インター南



アプリを戦略的に使い効率的かつお客様にもうれしいご提案を

S&CCS流山インター南では9人のメンバーが日々仕事の質向上に取り組んでいます。特に注力しているのが、コミットと車検です。具体的には、車検の受付に来られたお客様にアプリからの予約のメリットをご説明し、コミットと車検の料金を提示するようにしました。半年前から予約ができて料金も変わらないという魅力から、多くのお客様にご予約いただいています。また、一般の車検をご希望された方は、乗り換えのニーズが想定でき、マイカーリースがご提案できるので、コミットと車検をうまく活用することでマイカーリースへとつなげることができます。今後も、車検実績を増やしてマイカーリースをさらに強化し、「ガソリンだけに頼らないSS」をめざします。



サービスステーション基本情報

所在地 千葉県流山市三輪野山
4-3-16
営業時間 24時間営業
電話番号 04-7157-7350



C's MAIL

シーズ・メール

株主通信 vol.89

2020年度 第2四半期 事業のご報告
2020年4月1日～2020年9月30日

Oil & New

石油のすべてを。次の「エネルギー」を



C's MAIL

シーズ・メール

Vol. 89

誌名「C's MAIL(シーズ・メール)」には、「C(コスモ)の手紙」の意味を込めました。株主の皆様へ、心の通った情報を提供したいという当社グループの願いをこの名前に託しています。

発行
コスモエネルギーホールディングス株式会社
コーポレートコミュニケーション部 IRグループ
〒105-8302 東京都港区芝浦一丁目1番1号
TEL (03)3798-3180
FAX (03)3798-3841

<https://ceh.cosmo-oil.co.jp/>



IRモバイルサイト
モバイルサイトへは、このQRコードからアクセスできます。

<https://ceh.cosmo-oil.co.jp/ir/report/index.html>



コスモレポート2020
2018年度より始まった第6次連結中期経営計画「Oil&New」の進捗状況を始め、コスモエネルギーグループの価値創造や各事業における競争優位性、サステナブル経営への取り組みについて記載しています。ぜひご参照ください。



IRメールマガジンが、PCでも
ご利用いただけます

最新IRニュースをお届けいたします。
下記URLにPCからアクセスのうえ、
ご登録ください。

https://cosmooil.co.jp/ir_mail_magazine/



特集

コスモエネルギーグループの
サステナブル経営

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



Oil & New

石油のすべてを。次の「エネルギー」を。

求められるエネルギーは、変わる。
私たちは、その声に全力で応えていきます。



株主の皆様へ

株主の皆様へは、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2019年度に発生した新型コロナウイルス感染症により、当社グループを取り巻く事業環境は大きく変化しました。2020年度決算へは原油価格、各種製品価格の下落など、マイナス影響を受けますが、一定程度の黒字を確保できる見通しです。

事業環境は変化するも第6次連結中期経営計画の各種施策は着実に実行しております。IMO規制強化への対応やキグナス石油への供給開始など、石油精製事業における中計施策は既に効果を発揮しており、今後は次代の成長を担う新規事業を推進してまいります。

国内における再生可能エネルギーへのシフトがさらに加速することが見込まれる中、当社グループは現在、洋上風力発電を中心に複数のプロジェクトへ参画しております。将来的には、洋上風力発電におけるリーディングカンパニーとなり、サステナブルな成長をめざしてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後も変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長
桐山 浩

2020年度
1株当たり期末配当金(予定) **80**円
※中間配当は実施していません。



石油開発事業

Oil Exploration and Production Business

主なグループ会社
 コスモエネルギー開発
 アブダビ石油/カタール石油開発
 合同石油開発(持分法適用会社) 他

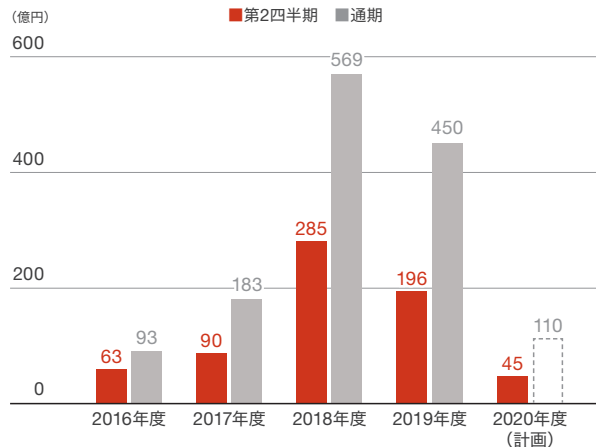
主な資産

原油埋蔵量
 (確認・推定) **160.6**百万バレル
 約17年分の供給量に相当
 (2019年12月末時点)

原油生産量
 (グループ合計) **約5.1**万バレル/日
 精製能力比 約13%
 (2019年1月~12月実績)

パートナーシップ
 50年にわたる
 産油国との強固な
 信頼関係

セグメント経常利益



当第2四半期のポイント

新型コロナウイルス感染症影響による原油価格の下落により、経常利益は45億円(前年同期比▲151億円)

通期の見通し

引き続き安全・安定操業を継続するも、新型コロナウイルス感染症影響を起因とする原油価格の下落により、経常利益は110億円(前年比▲340億円)

今後の取り組み

- ヘイル油田、既存油田ともに、安定的な原油生産に努めるとともに、1バレル当たりの生産コスト低減を図る
- ヘイル油田から最大限、原油を回収するため、2次回収に向けた対応を検討中

競争優位性

1 50年にわたるアブダビ首長国との強固な信頼関係

当社グループのアブダビ石油とアブダビ首長国との関係は、アラブ首長国連邦建国以前の1967年にまでさかのぼります。アブダビ首長国はそれまで欧米諸国のみに開放していた石油利権を日本にも開放することになりました。そこで当時の丸善石油、大協石油、日本鉱業の3社が共同で国際入札に参加し、落札しました。その後、同年の12月6日にアブダビ沖合の石油鉱区の探鉱・開発に関する利権協定が調印されました。

アブダビ石油はアブダビ国営石油会社(ADNOC)と協働し、安全で安定的な原油開発を進めており、長年にわたって高い評価を受けております。2018年にアブダビ石油は創立50周年を迎えました。これからもアブダビ首長国にとって、当社グループが友好的かつ信頼されるパートナーであり続けられるよう努力してまいります。

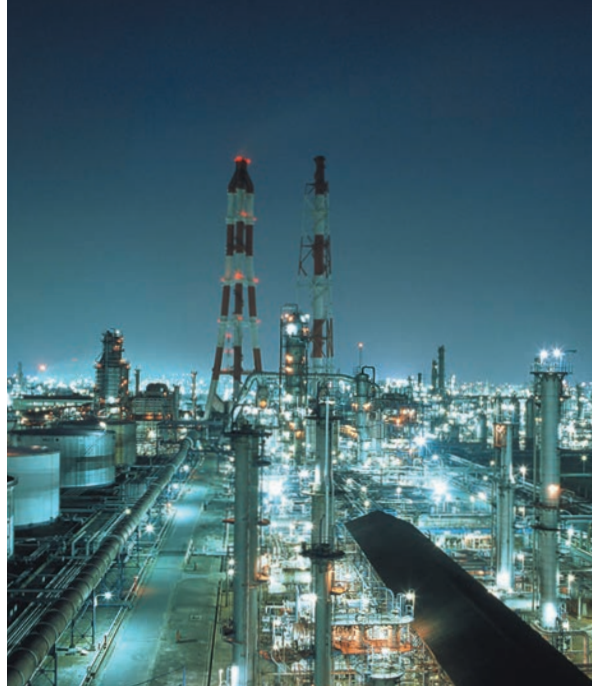


2 競争力の高い油田を保有

当社グループはアブダビ首長国においてはアブダビ石油、カタール国においてはカタール石油開発、アブダビ首長国とカタール国の国境地帯においては合同石油開発が操業会社となり、石油開発ならびに生産を行っております。当社グループが石油開発・生産を行っているエリアは、浅海に位置する在来型油田であり、大水深油田やシェールオイルに代表される非在来型油田に比べ、開発・生産コストが低く、競争力が優れております。

当社グループのアブダビ石油は2012年12月に既発見未開発構造となるヘイル油田の権益を取得しました。ヘイル油田は既存油田の近傍に位置していることから、開発において既設地上生産設備を最大限活用することで、新たな設備投資の抑制が可能となりました。さらに生産量の増加に伴い単位当たりの操業コストを低減しております。ヘイル油田は2017年11月より生産を開始し、生産量増加に伴って当社グループの収益力は大きく向上しました。





石油事業

Petroleum Business

主なグループ会社

コスモ石油 / コスモ石油マーケティング / コスモ石油販売 / コスモ石油LPリカンツ / 総合エネルギー / ジクシス (持分法適用会社) / キグナス石油 (持分法適用会社) 他

主な資産

原油処理能力* **40万**バレル/日
国内シェア 約11.4%

国内SS数 サービスステーション(SS)数
2,740箇所

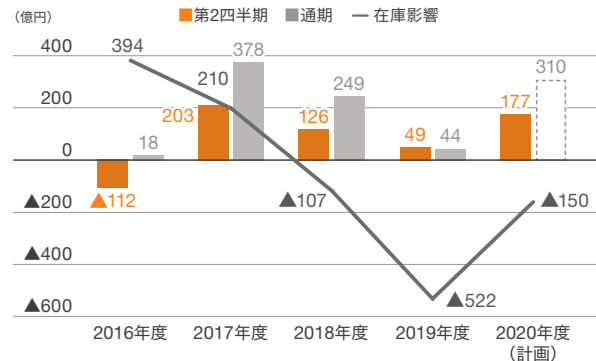
コスモ・ザ・カード会員数 約**416**万枚

マイカーリース 累計**78,489**台

2020年9月末時点

* 事業提携に基づく出光昭和シェルグループからの3.7万バレル/日相当の製品、半製品の供給も含む

セグメント経常利益 (在庫影響除き)



当第2四半期のポイント

新型コロナウイルス感染症影響によりJET燃料市況が悪化し、収益悪化となる一方、国内石油製品市況の良化、キグナス石油への燃料油供給拡大による販売数量の増加、IMO規制強化に対応する低硫黄C重油の販売拡大、原油価格下落による自家燃コストの改善により、在庫影響除き経常利益は177億円 (前年同期比+128億円)

通期の見通し

新型コロナウイルス感染症影響によるJET燃料市況悪化が継続すると見込まれる一方、国内石油製品需要は当初想定以上の回復を見込む。加えて、キグナス石油への燃料油供給拡大による増販、国内石油製品市況における適正マージン確保により、在庫影響除き経常利益は310億円 (前年比+266億円)

今後の取り組み

- 引き続きキグナス石油への燃料油供給拡大により、四品数量増販を図る
- IMO規制強化に対して、規定に則した船舶用燃料の増産を図る (2020年11月工事完了予定)

競争優位性

1 石油精製におけるさらなる競争力強化

2020年1月より船舶用燃料に含まれる硫黄分を3.5%から0.5%に引き下げるよう国際海事機関 (IMO) の規制が強化されました。そのため石油精製会社としては「高硫黄C重油の需要減少への対応」と「規制適合油の安定供給」という2つの課題に対処する必要が生じました。

そこで当社グループでは堺製油所の重質油熱分解装置 (コーカー) の能力を増強することで、高硫黄C重油を生産しない体制を整えたことに加え、千葉製油所の重油直接脱硫装置を最大限に活用することで、規制適合油を安定的に生産できるようになりました。

また、2020年度に千葉製油所ならびに四日市製油所において、流動接触分解装置 (FCC) の残油中に含まれる不純物を除去する設備を導入することで、残油を規制適合油として利用可能になることから、より効率的な生産体制を構築していきます。

2 顧客ニーズ多様化への対応 (顧客とのつながり強化)

お客様とのつながり強化の一環としてサービスを開始した新アプリ「カーライフスクエア」では、アプリ上で見積もりから決済まで完了できる「コミっと車検」のほか、お勧めの給油タイミングをお知らせする機能などが搭載されています。

「コスモMyカーリース」は着実に販売台数を伸ばし、累計契約台数7万台を突破しました。なお、カーライフの多様化にワンストップでお応えする車両販売の業態につきましては「コスモMyカーリースSTORE」へブランドを一新し、全国に拡大しております。

原油処理能力
40.0万
バレル/日*

大都市圏

1 千葉製油所17.7万バレル/日

- 重油直接脱硫装置を最大活用
→ IMO規制適合油を安定生産
- FCC残油の不純物除去設備導入 (2020年度)

2 四日市製油所8.6万バレル/日

- FCC残油の不純物除去設備導入 (2020年度)

3 堺製油所10.0万バレル/日

- コーカー能力を29千→31千バレル/日に増強 (2019年度)
→ 増強により高硫黄C重油を中間留分へアップグレード (ボトムレス体制確立)

* 事業提携に基づく出光昭和シェル石油グループ (昭和四日市石油) からの3.7万B/D相当の製品、半製品の供給を含む
※2020年3月末時点

また、家庭用電力として「コスモでんきスタンダード」「コスモでんきポイントプラス」「コスモでんきセレクト」「コスモでんきグリーン」の販売を開始。さらに法人向けに「コスモでんき Business」「コスモでんき Business グリーン」のサービスを開始しました。

今後も社会の変化に対応しつつ、お客様とのつながりを強化できるような商品開発を継続して行っています。



コスモMyカーリースSTORE 店舗



石油化学事業

Petrochemical Business

主なグループ会社

丸善石油化学／コスモ松山石油／
CMアロマ／ヒュンダイ・コスモ・ペトロケミカル(HCP)
(持分法適用会社) 他

主な資産

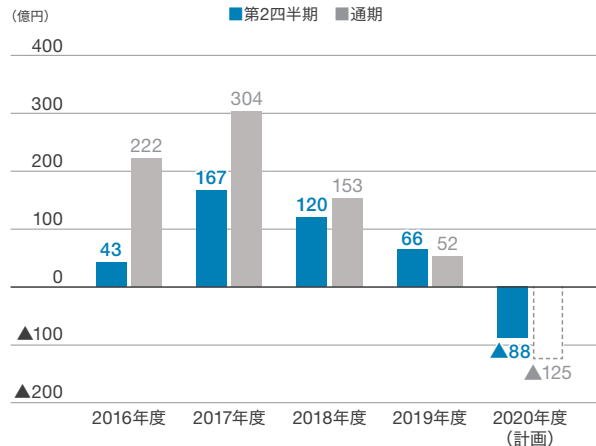
エチレン生産能力 **129**万トン／年*
国内シェア 約19%

パラキシレン生産能力 **136**万トン／年

2020年9月末時点

* 京葉エチレン(丸善石油化学が55%を出資する連結子会社)の生産能力を含む

セグメント経常利益



当第2四半期のポイント

パラキシレンを中心とした石油化学市況の悪化、第1四半期に発生した丸善石油化学における定期整備に伴う生産数量の減少等により、経常利益は▲88億円(前年同期比▲154億円)

通期の見通し

需給バランスの悪化が一定程度継続すると想定し、パラキシレンを中心とした石油化学市況の低迷等により、経常利益は▲125億円(前年比▲177億円)

今後の取り組み

- 荒川化学工業との合弁会社である千葉アルコン製造にて水素化石油樹脂製造設備を2020年12月に完成予定
- 丸善石油化学にてコスモ石油との協業事業として、プロピレンのアップグレードを目的としたプロピレン精留塔を建設中となり、2021年度に完成予定

競争優位性

1 半導体レジスト用ポリマーにて世界トップクラスのシェア

丸善石油化学では、これまでの基礎化学品事業に加え、機能化学品事業に進出しました。その中でも顧客のニーズに対応した半導体レジスト用ポリマーが高い評価を得ています。現在は、より微細な半導体レジスト用ポリマーや、その周辺材料の製造・開発を行っており、世界トップクラスのシェアを達成しています。

半導体はめざましいスピードで技術革新が進んでいる分野であり、顧客からの高い品質要望に応える必要があります。そのため設備管理、原料管理、工程管理など一貫した品質管理体制を構築し、年々要求が厳しくなる製品規格への対応を実現し、顧客満足度の向上に努めております。

最近では半導体の小型化、大容量化を実現するためにパターンの微細化が進んでおり、2020年からは需要の急速な立ち上がりが見込まれています。その流れに対応すべく、次世代のレジストに主剤として使用されるポリマーの製造・開発を進めております。



レジスト用ポリマー製造装置(クリーン環境下にて製造)

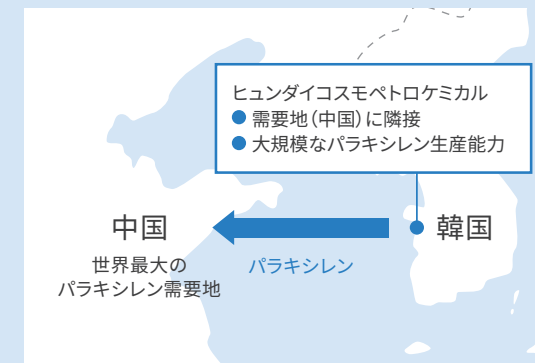
2 大規模生産能力と地理的競争力を有したパラキシレンプラント

当社グループは、2009年11月にヒュンダイオイルバンク株式会社(HDO)*と合弁会社ヒュンダイコスモペトロケミカル(HCP)を設立しました。HCPは年間136万トンという大規模のパラキシレン製造装置を有しております。また、世界最大のパラキシレン需要地である中国に程近い韓国の大山(デサン)に工場を構えることで、地理的競争力も備えております。

パラキシレンは、高純度テレフタル酸を経由してポリエステル繊維やペットボトル用樹脂などに加工される化合物で、工業上極めて重要な基礎化学品です。石油化学製品の需要は、世界の人口増加を背景に、さらなる拡大が見込まれています。

HCPでは、パラキシレン生産能力の増強に加え、省エネ効果も得られる高度化投資を実施しております。今後も競争力強化に向けた取り組みを進めるとともに、中国を中心とした石油化学製品の需要増加に迅速に対応してまいります。

* ヒュンダイオイルバンク株式会社:韓国の石油精製・販売会社。2008年4月に当社と石油事業包括協力覚書を締結





その他事業 (再生可能エネルギー事業等) Renewable Energy Business and Others

主なグループ会社
コスモエコパワー／
コスモエンジニアリング／
コスモトレードアンドサービス 他

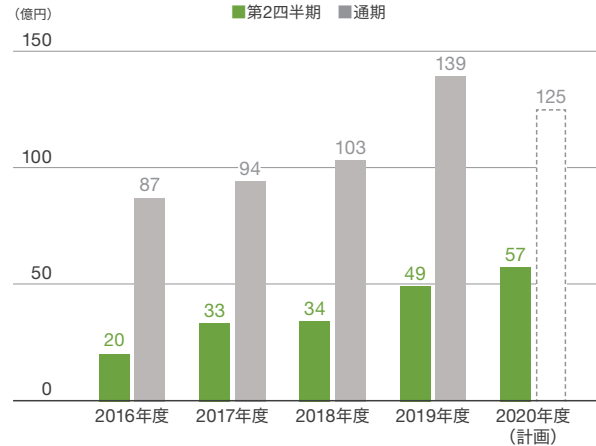
主な資産

風力発電容量 **26万3千kW**
全国第3位・国内シェア約7%

風車数 **172基 (24地域)**

2020年9月末時点

セグメント経常利益 (連結処理含む)



当第2四半期のポイント

コスモエコパワーならびにコスモエンジニアリング等の子会社、連結処理等により経常利益は57億円 (前年同期比+8億円)
※連結処理含む

通期の見通し

コスモエコパワーにおける洋上風力本格進出に伴う開発コストの増加などにより、経常利益は125億円 (前年比▲14億円)
※連結処理含む

今後の取り組み

- 陸上風力サイトでは中紀 (和歌山県) を2021年度、上勇知 (北海道) を2022年度の運転開始をめざし開発を進める
- 洋上風力サイトでは秋田港・能代港は2022年度に運転開始を予定、また一般海域において秋田由利本荘沖は促進区域、青森西北沖は有望な区域、秋田中央海域は一定の準備段階に進んでいる区域に指定されており、引き続き開発を進める

競争優位性

1 陸上風力で培った開発力を活かし、洋上風力へ

コスモエコパワーは、日本初の風力発電専門企業です。陸上風力では国内第3位のシェアを誇り、これまで25箇所以上の地域で風車を建設してきました。それらすべての地域において、自治体関係者の方々と一緒に開発を進めてまいりました。常に相手を尊重しながら、我々の事業を理解していただき、不安や課題をともに解決し、事業を展開していくことが当社のめざす姿です。これまで開発してきた地域の皆様とは、現在まで良好な関係を維持しています。

これらの実績と強みは、新たに拡大している洋上風力事業でも活かされています。海の風を有益な電力に変換するため、これからは地元貢献策に加えて地域還元の仕組化にも力を注いでまいります。地域と誠実に寄り添い、ゆく先々で愛されるコスモエコパワーであり続けます。

2 高いレベルの利用可能率を実現する技術力

コスモエコパワーは風車のメンテナンスを自社で行う高い技術力を持っており、それを磨き続けてきました。トラブルの原因を突き止め、再発しないよう着実に対応していくことで、技術力は向上していきます。これまでも落雷検知時の自動停止システムや振動による故障予知システムなどを導入してきました。不具合を未然に防止し、24時間運転監視によりエラーをすぐに確認・リセットすることで、風車の停止期間を短くできます。こうした不具合への対応を地道にやり続けた結果、利用可能率は業界トップクラスを誇っています。

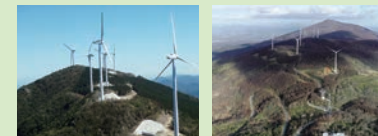
洋上風力では、これまでに経験のない海中での設備点検や風車の大型化など、新たな課題がありますが、これまでの経験を活かし、メンテナンスを競争力の柱の1つとして取り組んでいきます。

国内風力発電所マップ

風車数 **172基 (24地域)**
設備容量 **26万3千kW**
2020年10月末時点

運転開始

直近で運転開始したサイト
岩手県・姫神
(2019年度4月) (約1万8千kW)



三重県・度会2期 岩手県・姫神

進行中の区域

秋田港・能代港

一定の準備段階に進んでいる区域

秋田中央海域

促進区域に選定された区域

秋田由利本荘沖

有望区域に選定された区域

青森西北沖

着工済

今後運転開始を予定する新規サイト
北海道・上勇知
運転開始予定 (2022年度下期)
(約4万9千kW)

運転開始

直近で運転開始したサイト
三重県・度会2期
(2019年度4月)
(約2万2千kW)

着工済

来年度運転開始を予定する新設サイト
和歌山県・中紀
運転開始予定 (2021年度上期)
(約4万8千kW)

コスモエネルギーグループの サステナブル経営

コスモエネルギーグループ理念

「私たちは、地球と人間と社会の調和と共生を図り、無限に広がる未来に向けての持続的発展をめざします。」には、社会と企業の持続的発展への私たちの思いが込められています。事業活動を通じて、持続的な企業価値向上と社会課題解決の両立を実現するべく、サステナブル経営を推進しており、2018年度にはESGの観点からKPIを定めた連結中期CSR計画(2018-2022年度)を策定し、実行しています。ここでは、具体的な取り組みの一例をご紹介します。

連結中期CSR計画重点項目

E

環境施策の推進

S

人権・社会貢献施策の充実

G

安全施策の徹底
ガバナンス体制の強化

E 風力発電事業を推進し、CO₂削減に貢献

風力発電は、資源の枯渇の心配がなく、発電時にCO₂を排出しない環境にやさしいクリーンなエネルギーです。当社グループのコスモエコパワーの風力発電所の設備容量は2019年度26万6千kWに達しており、CO₂削減に貢献するだけでなく、エネルギーの多くを輸入に頼っている日本のエネルギー自給率の向上に貢献しています。引き続き、陸上風力発電所の新規開発を進めるとともに、洋上風力発電事業にも積極的に進出していく方針です。風力発電事業の拡大を通じて、地域の皆様に愛されかつ持続可能な社会の実現に向けて貢献できる会社をめざしてまいります。



S ダイバーシティ・新しい働き方

コスモエネルギーグループでは、「人材」を価値創造の源泉と考えます。さまざまなバックグラウンドを持つ社員が多様性を活かして活躍できる職場づくりに取り組んでいます。

人材の多様性の実現に向け、まずは女性活躍を優先課題としており、法定を上回る育児休職制度に加え、短時間勤務や各種特別休暇の取得も促進しています。家庭の状況が変わった時にもキャリアを継続できるよう、勤務地限定選択制度や再雇用制度、配偶者転勤事由による休職制度を整えています。

ワークライフバランス推進のため、2019年度より従来の在宅勤務制度を、自宅以外での勤務を可能とするテレワーク制度へと発展させました。今般の新型コロナウイルス感染症への対応で、本社や支店ではほぼすべての社員がテレワーク制度を使いましたが、既に体制ができていたため、スムーズに対応することができました。この経験をもとに、今後テレワークを含めた新しい働き方への移行をさらにすすめてまいります。



コスモ石油
千葉製油所
執務風景

G グループ会社の安全施策の徹底

コスモエコパワー

風力発電事業を手掛けるコスモエコパワーでは、風力発電所を安全に効率よく稼働させるために、定期的な点検、故障やトラブル時の対応、24時間の遠隔監視を実施しております。これまでの実績や経験などをもとに、故障箇所や故障時期を推定し、長期停止前に部品などを交換する予防保全に力を入れています。

丸善石油化学

丸善石油化学では「安全ナンバーワン企業を目指す。」を経営方針の一つとしており、「安全は、経営の第一原則であり、企業の使命である」と考えています。行動基準の中でも、いかなる事故、災害の危険をも予知し、その防止に努めることで「無事故・無災害を継続」することを誓っています。丸善石油化学の安全に係るすべての活動を「安全ナンバーワン活動」とし、全社で保安防災、労働安全、物流安全における安全管理の一体的な推進を図っています。



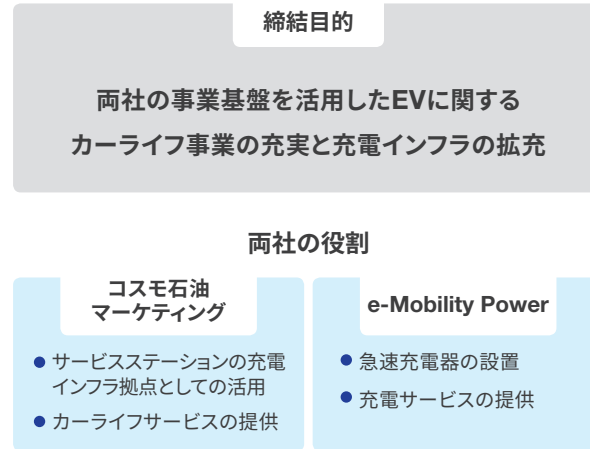
風車点検
ロープアクセス風景

1 株式会社e-Mobility Powerとの次世代モビリティ社会に向けた連携協定締結

コスモ石油マーケティング株式会社は、充電インフラ整備及び電気自動車(以下、EV)の普及に取り組む株式会社e-Mobility Powerと、当社サービスステーションへのEV用急速充電器の設置を軸とした次世代モビリティ社会に向けた取り組みに関する連携協定を締結しました。

e-Mobility Powerは、東京電力ホールディングス株式会社と中部電力株式会社が次世代モビリティ社会を支えるために設立した共同出資会社です。両社は今後、当社サービスステーションにe-Mobility Powerの急速充電器を設置し、NCS*ネットワーク利用者へ充電サービスを提供するとともに、国内最大級の充電ネットワークと当社カーライフサービスを掛け合わせた新たなEV利用者向けサービスを提供することで、ユーザーの利便性・利用満足度向上を図り、より環境負荷の低い社会の実現を目指し、EVの普及促進に取り組んでまいります。

* NCS:EV用充電器が属する合同会社日本充電サービス



2 「MSCI日本株女性活躍指数(WIN)」の構成銘柄に初めて選定

コスモエネルギーホールディングス株式会社は、このたび「MSCI日本株女性活躍指数(WIN)」の構成銘柄に選定されました。これは米国のMSCI社が、女性活躍推進法に基づくデータベースと企業の開示情報をもとに、女性の労働参加と昇進を支持し、多様性に関するポリシーを持つリーダー企業を選定するもので、年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)がESG投資のために採用する指数の一つです。

コスモエネルギーグループでは、第6次連結中期経営計画「Oil & New」においてダイバーシティを推進しており、様々な背景を持つ社員が意欲的に働き活躍できる職場づくりに取り組み、多様な価値観、能力、経験を結集させることで、高い生産性の実現と新たな価値創出を

めざしています。今後も引き続き、多様性の尊重、社員の能力を最大限発揮できる職場環境づくりに取り組んでまいります。

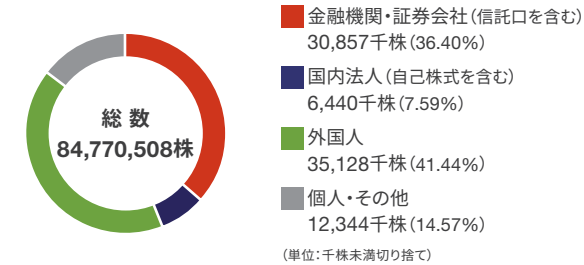


2020 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数(WIN)

会社概要

商号	コスモエネルギーホールディングス株式会社
証券コード	5021
本社所在地	〒105-8302 東京都港区芝浦一丁目1番1号 電話(03)3798-3180
発足年月日	2015年(平成27年)10月1日
資本金	400億円

発行済株式



大株主 (2020年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
Infinity Alliance Limited (インフィニティ アライアンス リミテッド)	17,600	20.76
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	5,160	6.09
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,734	4.41
株式会社みずほ銀行	2,522	2.98
関西電力株式会社	1,860	2.19
コスモエネルギーホールディングス取引先持株会	1,590	1.88
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	1,580	1.86
株式会社三菱UFJ銀行	1,580	1.86
損害保険ジャパン株式会社	1,342	1.58
NORTHERN TRUST GLOBAL SERVICES SE, LUXEMBOURG RE LUDU RE: UCITS CLIENTS 15. 315 PCT NON TREATY AC	1,302	1.54

* 持株比率は自己株式を控除して計算しております。なお、自己株式には、「役員報酬BIP信託」により信託銀行が所有する株式は含まれておりません。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金 支払株主確定日	3月31日
1単元の株式の数	100株
株主名簿管理人 及び特別口座の 口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
公告方法	電子公告の方法により行います。 ただし、電子公告によることができない事故、 その他やむを得ない事由が生じた場合は、 日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL https://ceh.cosmo-oil.co.jp/ir/notice/index.html
上場取引所	東証一部

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払い配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

見通しに関する注意事項

この「事業のご報告」に含まれる将来の業績などの記述は、現時点における情報に基づき判断されたものです。こうした記述は経営環境の変化などにより変化する可能性があり、当社としてその確実性を保証するものではありません。